



【教育目標】

自立に向かう生徒

ゆめ おり ばし

# 夢織橋

味方中学校だより No.25

令和4年3月18日発行

<http://www.ajikata-jhs.city-niigata.ed.jp/>

## 後期終業式を迎えて(一部省略)

校長 講話

よく「社会はどんどん変化していて、私たちもそれに対応していかなければいけない」というような言葉を聞くと思うのですが、コロナ禍の対応や iPad の使用をはじめ、世の中はどんどん変化していて、その変化に対応をしていると実感します。でも、すんなり変化に対応できるものもあれば、変わることにも勇気が出ない場合もあります。そんな折、TVで「チーズはどこへ消えた？」という本の紹介をしていました。

ネズミ2匹と小人2人が登場します。迷路にあった大量のチーズを食べ切った後、チーズを探し求めてそれぞれが、それぞれの方法でチーズを求めるという内容です。

筆者は「幸せになる(成功する)には、どうしたらいいか？」をテーマにしています。話の中で「ホー」という小人が、チーズを得るために、考え方を考えることで、行動が変わり、チーズを見つけることができたという場面があります。文中に「最大の障害は自分自身の中にある。自分が変わらなければ好転しない」とあります。言い換えると、「〇〇が苦手だから、無理だな」「どうせ、〇〇に勝てないからやってもむだだな」という、思い込みやマイナス面ばかりに気を取られて、挑戦しないでいると何も変わらないということではないでしょう。

1年を振り返り、どこを頑張ったのか、次はどこを頑張ればいいのかをじっくり考えてみてください。皆さんを見ていて、1年生も2年生も、それぞれ1人1人が成長し、各学年としても成長したなあと感じています。でもまだ伸び代はあるなとも感じています。春休みは、自分をじっくり見つめる時間を是非作ってください。4月7日、元気な皆さんに会えることを楽しみにしています。

## 令和4年度 コミュニティースクール(cs)がスタートします

令和4年度から、新潟市のすべての小中学校に「コミュニティースクール」が導入されます。これまでも、学校評議委員制度を通して、委員の方から学校の教育ビジョンや教育活動について、ご意見や評価をいただき、学校運営に活かしてまいりましたが、今まで以上に、家庭、地域、学校が協力して教育活動を行っていくための「学校運営協議会」を導入した制度です。

「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」の実現を、さらにめざします。

保護者代表、地域の方、学校支援者、校長、担当職員等、最大15名で「学校運営協議会」を組織し、学校運営や教育活動とともに参画していただきます。新年度、詳しい内容等について再度、紹介させていただきます。

**保護者の皆様へ** 1年間、当校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、感謝申し上げます。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

## 1, 2年生 感謝を込めて大清掃・ワックスがけを実施

3月15日（火）の放課後や学活の時間を活用し、各学年や保健環境委員と適材適所プロジェクトに応募したボランティアの生徒で、大清掃や教室のワックスがけを行いました。参加した生徒は、ボランティア精神旺盛に、感謝の気持ちを含めて、一生懸命に活動しました。



## 未来創造探究学習 たねまき会議

3月15日（火）に今年最後の第6回未来創造探究学習プロジェクト「たねまき会議」を実施しました。会議では、未来の味方を担う子供たちに「どのような資質・能力を身に付けてほしいのか？」という視点で、学校という垣根を越え、実施しました。

たねまき会議にご参加いただいた、皆様に感謝申し上げます。

- ・味方地区コミュニティ協議会 高橋 覚 様
- ・富士印刷 阿部 隆一 様
- ・白根青年会議所 五十嵐 一也 様、鈴木 皓旦 様
- ・みらいず works 角野 仁美 様

たねまき会議を通して、地域創造探究学習を「来年度の総合的な学習の時間」で実践していきます。笹川邸ガーデンをはじめ、今後の味方中学校の取組にご期待ください。



6月ファシリ



7月情報発信



7月菅我さん、平澤さんに学ぶ



秋ガーデン披露会



カルロスさんと出会い



12月たねまき会議